

1 化学グランプリ金賞を本校生徒が受賞！！

化学グランプリは科学技術振興機構が支援する科学オリンピック(日本数学オリンピック、化学グランプリ、日本生物学オリンピック、物理チャレンジ、日本情報オリンピック、日本地学オリンピック、科学地理オリンピック日本選手権)の一つで、化学への興味・関心が高い中高生が集い、世界にも通用する若い科学者を育成することを目的に開催されているコンテストです。化学グランプリには本校からも毎年数名の生徒が挑戦していましたが、今回高校3年生の徳田陽向さんが見事金賞を受賞し初の金メダリストとなりました。この快挙に在校生も大いに刺激を受けて次のメダリストを目指して欲しいと思います。

2 高校1年 家庭科・理科 調理実験(教科横断型授業)

「何のジャムを作りたい?」と問いかけ、メロン・梨・イチゴ・ブルーベリー・りんごを題材に、砂糖の量や加えるタイミング、できるジャムの状態など仮説も含め各グループで考え、実習に取り組みました。中にはジャムの状態にならない果物もあり、ペクチンの抽出実験を通してジャム作りにはペクチンが必要なことを再認識しました。また、マヨネーズ作りにも挑戦。マヨネーズの原理について説明を加えたので、これでもう失敗することはないでしょう・・・



家庭科授業の「食」に関する実験実習を行い、科学的な視点からの原理を知ること、更に「食」に興味・関心を持って欲しいと思い、家庭科と理科の内容を併せた授業を行いました。

3 高1文理コース 生命科学基礎「名古屋港水族館 サイエンスツアー」

10月19日(火)1年生文理コースで名古屋港水族館サイエンスツアーを実施しました。このツアーは生命科学基礎の学習の一環で海の生物を観察し、生物の多様性や進化の理解を深めることを目的としています。水族館はエビやクラゲのような小型の無脊椎動物からシャチなどの大型の哺乳類まで(その数500種!)大小さまざまな水槽で展示されており、見所満載です。事前学習ではロイロノートを駆使して水族館の各コーナーの解説カードを作りました。現地では、タブレットで展示されている生物を撮影したり、解説をメモしたり、グループごとに水族館を満喫していました。特に巨大水槽内をダイナミックに泳ぐシャチやイルカが人気で食い入るようにその行動を観察していました。普段は見ることのできない海の生き物をじっくり観察することができ、充実した一日になりました。今回の見学の成果を今後の生物学の学習に活かしてほしいです。



4 JST 数学キャラバンに参加しました

10月16日(土)に、JST(科学技術振興機構)主催・嵯峨野高校共催の「JST 数学キャラバン」に高1サイエンス科の2名が参加しました。非常に有名な数学の教授・准教授から数学の面白いトピックや高校生の時の話などを聞くことができました。

リモートでの参加ですが、参加人数が少なかったことが逆によかったのか、講師の先生とたくさんの会話をすることができました。12月18日(土)には洛北高校に集まっての別な数学のイベントもあるので、ぜひ参加してください。

5 サイエンスチャレンジ「福井県立恐竜博物館 特別講義・サイエンスツアー」

10月15日(金)に、福井県立恐竜博物館によるオンライン授業を、10月30日(土)にサイエンスツアー『福井県立恐竜博物館見学』を実施しました。当初は、9月18日に実施予定だったサイエンスツアーでしたが、2回の延期を経てようやく実施することができました。日程変更を余儀なくされたため、発掘体験は実施できませんでしたが、博物館の充実した展示を見ることができて、生徒の皆さんにとってはとても良い経験になったようです。サイエンスツアーに先駆けて実施した恐竜授業では、足跡化石をご専門に研究しておられる築地 祐太 氏から、足跡化石の採取・分析や、そこから古環境・古生物についてどのように考察するのかについてご講演をいただきました。質問も多数出て、好奇心をくすぐられる内容だったようです。事前講義のおかげで、恐竜博物館の展示見学をより充実させられた生徒もあり、それぞれに深い学びを得ることができたツアーになりました。



6 洛北 Step Up Matrix 公開授業・情報交換会を実施

10月25日(月)に、「洛北 Step Up Matrix」にねらいを定めた公開授業を全国各地SSH校の多数の先生の参加のもと、オンラインで実施しました。2限に古典と数学の授業を、3限に政治・経済と生物の授業をZoomでライブ配信しました。調査データの解析や、グループワークによるグラフの作成、古典作品の時代背景や登場人物の心情を考えるなど、洛北 Step Up Matrixの「発想」「課題・仮設定」「データ取得・処理」「表現・発表」のステップを高める授業が展開されました。また、事前に録画した授業動画もYouTubeで限定公開し視聴していただきました。情報交換会では、探究的な授業実践に評価をいただくとともに、カリキュラム・マネジメントの取組について質疑応答を行い、本校の取組を検証する貴重な機会となりました。

